

ちば通研だより No.509

千葉県手話通訳問題研究会（発行責任者）米田 市子（編集者）渡辺 正夫
住所：〒260-0022 千葉市中央区神明町 204-12 千葉聴覚障害者センター内
FAX：043-247-1201 E-Mail：syuwa@nifty.com URL：<http://syuwa-chiba.la.coocan.jp>

手話施策推進法 可決成立 ～足かけ 15 年の運動の成果で～

去る6月18日(水)、午後5時40分、衆議院本会議で手話施策推進法が全会一致で可決成立しました。

「障害児者の情報コミュニケーション推進に関する議員連盟」が中心となって法律の成立に向けて努力を重ねてくれました。

そして、6月12日(木)参議院内閣委員会、13日(金)参議院本会議にて反対なしで通過しました。その日の午後2時過ぎに衆議院内閣委員会で審議が行われ承認されました。18日(水)衆議院本会議が衆議院財務金融委員長の解任決議案の提出・採決が行われた関係で、「手話に関する施策の推進に関する法律（手話施策推進法）案」について審議する時間がかなり遅れましたが、無事可決しました。

全日本ろうあ連盟は、2010年に手話言語法制定推進本部を立ち上げ、この運動を進めてきました。「手話言語法制定を求める意見書」が2016年3月に全ての自治体1,788で採択され、国や議長に提出されました。そして、議連は2019年6月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（通称：読書バリアフリー法）、2022年5月に「障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律」（通称：障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法）を成立し、今回3つ目の法律を成立させました。（広報部長 渡辺 正夫）

7月23日時点でのちば通研の会員数は312人
(読者会員会員数は12人)
2025年度の目標数は350人です
数は力！みんなで会員を増やしましょう～



しゅわりん

手話施策推進法の報告会について

6月19日(木)、17時より衆議院第一議員会館多目的ホールで開催された「手話に関する施策の推進に関する法律(手話施策推進法)」可決・成立報告会に参加してきました。手話関係者団体41人、全通研8支部、議員連盟、来賓を含め60人ほどが集まっていました。

議員連盟会長、日本財団理事長、市区長会事務局長の挨拶の後、全日ろうの石野前理事長より、「15年前から手話言語法の運動を展開してきた。2006年国連総会において障害者権利条約が全会一致で採択され『手話は言語である』と定義されたが、日本では根拠法が無く時間がかかった。2016年全ての地方自治体で手話言語法を求める意見書が採択。まさにろう運動の成果の結実だった。2022年『情コミ法』の附帯決議に『手話言語法の立法』と明記された。議員連盟が中心となって協議を重ね法案が作成され、ようやく今国会で可決成立。夢が現実となりタベは嬉しくて妻と祝杯をあげた。そしてこれはゴールではなくスタートである」と挨拶されました。

議員連盟事務局長今井絵理子議員から制定までの経緯について説明があり、各議員に説明に回っている中で「この法律は愛がこもっているね、優しい法律だね」と評価をもらったとの話がありました。全日ろうの久松事務局長からは「『久松は歩く手話言語』と言われたが、手話は言語であるという理解を広めてきたことが実った」と感慨深く話されました。最後に石橋理事長より、「本当は『手話言語法』という名称にさせていただきたかったが『名を捨て実を取る。実を充実させいずれ名を取る』と手話言語を法律に盛り込めるよう組織力を生かして今後も活動していく」と力強く決意を述べられ、全員が手話の拍手で祝福し合いました。

(会長 米田 市子)

「ほたるイベント」報告

7月5日(土)、13時から16時まで千葉県聴覚障害者センターにおいて、「東京2025デフリンピックほたるイベント」が開催されました。2025デフリンピック開催が近づいてきたこともあり、200名を超える入場者で、ホールに入れられない方の為にモニターを設置するなどの対策も取られました。外の猛暑に負けないぐらいの盛りだくさんの内容と熱気でした。

「みんなのデフリンピック」上映から始まり、元筑波技術短期大学教授の及川力氏による「デフリンピックに関わってみて」と、内閣府政策統括官付き参事官の古屋勝史氏による「デフリンピックに向けた政府・内閣府の取り組み」をテーマにミニ講演がありました。間に5名のデフアスリートへの生インタビューや「しゅわしゅわダンス」を挟み、5台のスクリーンを使ってのVTRやパソコン要約での情報保障など、テンポよく見どころの多い3時間でした。最後に7名の来賓の方々や、過去の大会経験者による応援エールの後、会場に花道を作ったの選手退場と盛り上がりは最高潮となりました。

千葉市班の傳田幸恵さんの司会がすばらしく、イベント成功に結び付いたと思います。ありがとうございました。

(保育・子育て支援班長 渡辺 裕美)

「ほたるイベント」に参加して

7月5日(土)、デフリンピアンに会えるのを楽しみに「ほたるイベント」に参加しました。個人競技と団体競技の違いや練習環境の確保など、まだまだデフリンピックの体制は不十分で、練習と仕事や生活との両立は大変だろうなと思いました。直接会って更に応援に力が入ります。 フレー、フレー、JAPAN

(白井班 遠藤 さと子)

東総地区講座 報告

6月29日(日)、13時30分から16時まで東総地区講座が佐倉班の担当で開かれました。参加者は38人(会員29・きこえない人2・一般7)でした。

テーマ：しろうが語る！ 番外編

講師：黒岩 史郎氏

会場：佐倉市西部地域福祉センター 2階会議室1～3



ちば通研だよりに「福祉の現場を経験して しろうが語る！」を連載中の講師が、障害者福祉とその支援について、現実と大切なこと、その思い・考えを時間を超えて語って下さいました。参加者からの熱心な質問もあり熱く予定を30分超過して終わりました。

なお、講師が講演の際に紹介した「ちば通研20周年記念誌」を500円で販売します。27年前の講師を含む若き先人たちの運動と熱い心をぜひお読みください。ご希望の方は事務局までお申込みください。
(組織部 野島 晃)

東総地区講座に参加して

黒岩史郎氏の講演を聴きました。県通の同期ですが、通研の大先輩です。ケースワーカーの経験が6年とは知っていたものの、その中身は初耳で、障害福祉課が長かったのかと思ったら、議会事務局や養護学校も経験されていて、多角的に障害者に関わられたのが伝わってきました。ろうの義兄さんの話も出てきましたが、家族としての優しさとプロとしてのタフさ・鋭さを併せ持つ、この方こそその見事な講演でした。連載の続きが楽しみです。

(佐倉班 横山 典子)

関東一斉行動 報告・参加して

7月19日(土)、13時30分から15時10分まで、千葉聴覚障害者センター3階にて、「東京2025 デフリンピック 関東ろう連盟8都県連結！オンライン応援イベント」が行われました。会場はデフリンピックの横断幕やのぼりで飾られ、2つのスクリーンには千葉会場を含めた8つの会場が映し出されていました。オンライン会議等は珍しくもなくなりましたが、このようなイベントがオンラインで繋がるのは貴重な経験、関東は一つの合言葉を体現されていました。

各会場から発表や報告がリレー形式で行われました。地元のデフリンピアントークやこれまでの気運醸成の取り組みなどが報告されました。千葉会場からはこれまでに開催された気運醸成イベント(クリスマス、七夕、新春、ほたる)の様子をまとめたVTRを報告者の椎名さんが説明を加えながら紹介しました。千葉の取組みをギュッとまとめたVTRは圧巻で、今後もお披露目される機会があればぜひたくさん方にご覧いただきたいと思います。

東京会場からはアスリートに応援を届ける3つのサインエールが紹介されました。8会場のみみんなでサインエールを行い、関東が一つとなって本番さながらの熱気に包まれました

(事務局長 折原 由紀子)

「福祉の現場を経験して しろろが語る！」 Vol.5

平成16年建国記念日 NPO法人立ち上げ

法人設立の契機は二つありました。一つは夫婦で養護学校に勤務するようになり卒業生のため自分たちにできることはないか話し合った結果。二つ目は福祉サービスの運営主体の規制緩和(従来GHIは社福法人しか運営できなかった)。

当時の知事は堂本暁子氏。「NPO立県」をスローガンに当選された方です。知事は職員に対しても「どしどしNPOを作るよう」勧められました。(結局それに乗ったのは私一人でしたが…)

当時鎌ヶ谷市にはグループホームが一つもありませんでした(今35)。その頃の養護学校卒業生の進路はほんの一握り(生徒会役員)の生徒しか一般就労に就けず「福祉作業所に入れれば万々歳」という時代でした。(就労系の事業所が溢れる現在とはまさに隔世の感があります。)

高等部の生徒は実習を受け入れる企業も少なく、また自宅から通うとなると、勤め先も必然的に自宅近辺しか選べない(いくつも乗換えるのは苦手)状況でした。事務長として在籍した間、私は先生方はもちろん保護者の方たちとも濃密な交流を図ることができました。お母さん方だけでなく、夜にはお父さん方との交流(飲み会)も設定しました。お父さん達も「子供たちのために何かできることを」と熱心に考えてくださり、私のホームを見学に来られたり、自分達でも地元でグループホームを開設したり、自閉症児に特化した放課後デイを開設したり、「企業の実習先の拡大」にも積極的に取り組む等「父親の会」の活動は、学校関係者に大変心強い存在でした。ちょうど特別支援教育に切り替わる時期、お陰様で私は公務員人生で一番充実した楽しい三年間を経験することができました。

学校の保護者や先生方には、福祉の制度的な情報例えば「本来18歳以上のサービスであるグループホームの体験利用が15歳(高等部)から特例で認められること」等ほとんど知られていませんでした。私はPTAの会計等も事務長の事務分掌に入っていたので、自然と保護者の方たちとも声をかけ合う機会も多く、学校では保護者の福祉相談窓口にもなり、今思うと事務職員というより子供たちの教育に関わりたがる「変わり者」でした。小学部の児童たちは、先生から課された課題「チョークを〇本ください」とか書かれたカードを首に提げ事務室を入れ替わり訪れたりするんです。(事務室も教室のうち?)

手話サークルの仲間と社会福祉士の仲間たちでNPO法人を運営

知的障害者のためのグループホームを作ると地元で発表すると、地元ろうあ団体から「なぜ聴覚障害者のための事業をやらないの?」と少し責められました。(身障者のグループホームが制度化されたのはかなり後のこと)

平成16年の建国記念日(ちょうど次女が生まれた直後でした)に設立総会を開催、その年の秋に全額自己資金(大借金)で自宅前にホーム建設を着工、平成17年4月から運用を開始、以後長い間二つの仕事をかけ持ち生活となります。学校給食室の工事でお世話になった建設業者の社長(鹿児島出身の方)に依頼して、とても丁寧な作りのホームを完成することができました。

(黒岩史郎) 次回に続く⇒



医療班コーナー

带状疱疹とはどんな病気？

原因：過去に水ぼうそうにかかった時に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化するため

症状：ぴりぴりとした皮膚に刺激を感じるような痛み、違和感、痒みが出て、その後同じ場所に赤みや水ぶくれが神経に沿って帯状に出現
体の左右どちらかに出ることが典型的な特徴

部位：胸部、腹部が多い。腰部、陰部、頭部、眼や耳の近くに症状が出る場合もある

年齢：50歳以上になると発症率が高くなり、70歳をピークとして80歳までには約3人に1人が带状疱疹になるといわれている

<治療>

初期治療⇒発症から72時間以内に抗ウイルス薬の内服を開始することが重要
症状の早期改善と後遺症予防に効果がある

痛みに対して⇒非ステロイド性抗炎症薬、アセトアミノフェン
神経障害性疼痛治療薬

皮膚症状に対して⇒抗炎症作用のある外用薬、抗菌外用薬などの局所療法

<合併症に注意>

带状疱疹後神経痛は最も頻度が高く、皮膚の症状が落ち着いた後にも3か月以上痛みが残る。

頭部の場合は失明、顔面神経麻痺、味覚障害、めまいなどの症状が出ることがある。

<予防>

带状疱疹ワクチンによって、带状疱疹やその合併症を予防できる。

2025年度から

65歳の方などへ带状疱疹ワクチンの予防接種が定期接種の対象に！

- ・住まい（住民票のある）の市町村で実施される
接種を受ける場所や費用（助成）について、詳しくは住まいの市町村に確認を
- ・ワクチンは、接種回数や接種方法、接種スケジュール、接種条件、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なるので、接種を希望する場合は医師に相談を

带状疱疹は免疫力が低下することで発症しやすくなります。

予防には日頃の体調管理が大切です。バランスの良い食事と十分な睡眠をとり適度な運動をしましょう。リラックスする時間を持ってストレスを減らすことも大切です。

これらの習慣で免疫力の低下を防ぐよう心がけましょう。

《労働班です！》

～今回は**最低賃金**のお話です～

ニュースで時折耳にする「最低賃金」。令和6年10月1日に発効された千葉県の最低賃金は1,076円です。高い？それとも安い？（ちなみに東京は1,163円です）このように都道府県ごとに金額もバラバラな最低賃金ですが、種類は2つあります。

- ① **地域別最低賃金**・・・都道府県ごとに定められ、その都道府県で働くすべての労働者に適用されます。正規雇用、パート、アルバイトなどの雇用形態にかかわらず外国人労働者などもすべて適用されます。
- ② **特定（産業別）最低賃金**
・・・特定の産業ごとに設定されています。産業の労使が「地域別最低賃金」よりも高い水準で最低賃金を定めることが必要と認めた場合に設定されます。

☆聞こえない人達の労働条件は守られているか。心配なことがあれば、ハローワークで相談を！手話協力員もいます。是非、皆さんからの情報提供をお願いします。
(労働班長 粉 純子)

デフリンピックが11月に開催 (その4)

6月終わりから、オンデマンドの研修動画が公開されました。まず公開されたのは、大会アンバサダーの川俣郁美さんによる「ボランティア活動の心構え」という5分程の動画です。ボランティア活動の中で意識してほしい事やボランティアである私達に期待することなどを話されました。この中で「ボランティアはデフリンピックの顔である」と何度も強調されており、身の引き締まる思いと同時に、いよいよ東京で開催されるんだ！ボランティアとして関わる事ができるんだ！と気持ちが盛り上がってきました。

その後も1本ずつ研修動画が公開され、全体研修として那須映里さんによる数本の動画を視聴しました。大会の概要や、ボランティア活動の基本といった内容から、活動場所や役割、コミュニケーション方法やコンプライアンスについてなど細かな内容が含まれ、全て視聴すると45分ほどになりました。視聴後、これまで私の中では漠然としたイメージだったボランティア活動というものが、少しずつ形になっていくようでした。今後は手話言語研修などが予定されています。

また、研修動画公開と同時進行で各々の活動場所案などの発表もありました。まだ正式決定ではないですが、確実に私の中のワクワク感が高まっています。まずは研修をしっかり受け本番に備えたいと思います。

(市原班 江口 朋代)

私のイチオシ

…鎌ヶ谷班…

「ハートネットTV（Eテレ毎週水曜 20時から）で日本手話！」

日本手話は、日本語対応手話に比べてむずかしいと思っていたのですが、この番組で日本手話がとてもわかりやすいと気づきました。音声を聞いてしまうと、手話表現がずれるので、初めは全く分からなかったのですが、録画して音声付きで内容を理解した後に手話に注目して見直すと、少しずつ理解できる部分が増えました。私は英語を使って仕事をしていますが、勉強方法も似ています。

好きなのはシュワ・ワ・旅。旅番組を見ながら手話を学べるなんて最高です。NHKの人気番組を手話付きで見られるのも魅力です。番組を通じて、長谷川翔平さんと那須映里さんのファンになってしまいました。

先日、オンライン講座でカナダ人講師の話聞いたのですが、カナダの山火事を伝えるニュースで手話通訳が付かなかった時、耳の聞こえる人からクレームが来たそうです。感情も加わった手話表現は聞こえる人にも伝わりやすく、手話通訳が付かなかったことに不満があったとか。即、改善されたとのこと!!

豊かな手話表現、次世代にもしっかりと継承されていって欲しいです。

（平田 真貴子）

「おもちゃの広場」

私のイチオシは、「おもちゃの広場」です。私は、おもちゃコンサルタントという資格を持っています。鎌ヶ谷市でも、おもちゃコンサルタント仲間で作った「toykama3temmy」という団体で、児童センターや地域のイベントなどで開催しています。室内だけでなく、公園や森で行うこともあります。東京おもちゃ美術館（東京都新宿区四谷4-20 四谷ひろば内）からおもちゃを借りて、子どもから大人まで楽しく遊ぶ場を提供しています。おもちゃコンサルタントは、全国にたくさんいます。もちろん千葉にもたくさんいます。お近くでも開催されているのではないかと思います。手話通訳士もいます。なので、「手話通訳つきおもちゃの広場」を開催する方もいます。おもちゃは子どもだけのものではありません。障害があってもなくても、高齢者でも、誰でも楽しめます。私は、おもちゃを通じて、楽しい♪を共有できるのがとてもうれしいです。楽しいは、生きる原動力だと思います。リハビリにも脳トレにもなります。対象を限らず、誰でも楽しめる「おもちゃの広場」も開催していますので、そのときには、みなさん、ぜひ遊びにきてください。「おもちゃの広場」で、楽しいひとときを過ごしましょう！また、少し遠いですが、東京おもちゃ美術館もおすすめです。手話について学んでいるおもちゃ学芸員もたくさんいます。お時間が合いましたら、一緒に遊びにいけたらよいなと思います。

（山田 貴子）

地域班通信

船橋班：次女と一緒に、コーヒーを淹れて飲む事が最近の日課となっている。午前中、お互いに時間を合わせて一緒に飲む。コーヒーのいい香りと丁度いい濃さの美味しさに日々癒される。次女も来年からは社会人。大切に味わっている。(N)

白井班：火山に魅力を感じ、推し的大名は島津斉彬。となれば行くしかない！と鹿児島に行ってきました。行きたいところ、見たいところが多すぎて2万歩近く歩きまわる日もありました。想像を絶する噴火や火砕流の跡、そして島津斉彬やっぱりすごい！と改めて思いました。黒豚や焼酎、カンパチやキビナゴなど美味しい食材も豊富でした。

習志野班：先日、ドローン体験に行きました。そこでは(八千代市)聞こえる講師と聞こえない講師がいます。聞こえない人が学びに行く時は、聞こえない講師がいるのはとても助かりますね。私は聞こえない講師に教えて頂きました。ドローン、手話の一石二鳥になって1日、楽しく学べました。皆さんもぜひ足をお運びください。

鎌ヶ谷班：NHK テレビ日曜日の10時過ぎから「明日をまもるナビ」を見ています。最近、異常気象による災害が多く発生しています。この番組から防災について学ぶべきことが多くあります。事前に備えることが自分の命を守ることになります。家具の転倒防止、食器棚の整理、水などの食糧の保存などやるべきことをしっかりやるようにしています。(KW)

富里班：退屈なその日、BS テレビ欄のタイトル「殺人事件」2時間番組を暇つぶしに見始めると南田洋子が聴覚障害者役、松下由樹が手話通訳士役、後で調べると正しいタイトルが「海の沈黙」24年前のドラマでしたが、たまたま観る事ができた気分になった。ひょっとしたらセンターに貸出DVDがあるかも。。

わかしお班：私は飲食店を営んでいるのですが、先日お会いした事のないうろろ者のカップルがご来店してくださいました。手話で挨拶すると「手話できるの？」と。「少しだけ」と伝えましたがつい欲が出て、人気のトッピングを伝えようとしたが表現出来ず筆談でやり取りしました。どんな形であれ意思の疎通が出来れば良いのですが、忘れていく手話を残念に思いました。(MK)

市原班：猛暑の中「ほたるイベント」盛りだくさんでしたね。たまたま、デファスリートの方々と挨拶程度ですが直接お話しする機会があり、気さくで、笑顔の素敵な方々で、もっと応援したくなりました。市原では、6月から「手話言語条例にかかるとる学習会」が始まりました。各団体のメンバーが集まり一年間の開催予定です。

かずさ班:11月のデフリンピックに向け各地で気運醸成が高まっていることでしょう。キャラバンカーの巡回地が私の住む近くにも立ち寄るとの朗報。ある時デフリンピック応援グッズの中で、これを着てお出迎えしたら気分上がるね、何色にする、色揃えたほうが良いね、とその場にいた手話サークルの仲間達と盛り上がりました。が時すでに遅し完売してしまいました。フリマサイトに載ったそれを見ては怨めしく思うのです。(TK)

成田班:長い人生にきて初めてだらけのことを体験しています。プラス猛暑です。体力消耗。

松戸班:今月は、砂田アトム氏のDVDを使って読取の学習をしました。見てわかる魅力的な表現に引き込まれました。聞こえない方にも参加していただき、聞こえる私たちには難しい表現を解説していただきました。(KNK)

海匝地域班:暑中お見舞い申し上げます。毎年、暑さが厳しくなっているように感じます。食事や水分をとって、夏を乗り切りたいですね。トカラ列島近海での地震について、地域の皆様や、親戚・友人がいらっしゃる方々、ご心配なことと思います。自宅で過ごせるので、私は幸せだなと、思います。お大事にしてください。

市川班:毎日なんでこんなに暑いんでしょう? いつもは暑さマシマシの蝉の音が最近聞こえないのですが…(暑すぎ?)。夏と言えば納涼花火大会ですね。市川市も8月2日に花火大会があり、なんと予想では約49万人もの人が江戸川河川敷で鑑賞するとのこと。私はいつもながら家でビール片手にTV鑑賞する予定です。

流山班:わたしのイチオシは、初石駅の近くにある「ロータス」。インドやネパールの本格カレーはもちろん、二郎系ラーメンやスタミナ丼も楽しめます。お店の暖かい雰囲気、ついほっと一息。テイクアウトはもちろん、近くなら配達もしてくれます。

印西班:今更ですが、YouTube動画視聴にはまり始めました。元々は手話動画を観るためにテレビにYouTubeをつなげたことから他の動画もちょこちょこ。年齢的に健康に関する動画もつい観てしまいます。一つの食品についても評価が真逆などということはざらにあります。あくまでも「参考」に、一つの食品や考え方に傾倒しないという当たり前の結論です。

千葉市班:「原風景」—誰の心の中にもあるものだけれど、きっと、一つとして同じものはない。そんな私の「原風景」は、一面に広がる田んぼ。だから、今この時期が一番ときめき癒されます☆ 千葉はときめき癒しスポットがいっぱい! しかもお米は私たちの命も育てくれる♪ 「原風景」は生きることにもつながっているのですね。さて、あなたの「原風景」は?

八街班：我が家にチワワとヨークシャーテリアがやってきて早2年が過ぎようとしています。この夏の暑さにも負けず、毎日元気に遊び、おやつのおねだりも上手です。今や私の癒しになっています。犬たちに感謝です。長生きを願っています。

八千代班：数年ぶりに班会議を開いた。地区講座について話し合うために召集。班員はサークル会員や通訳者で、そこでコミュニケーションはとれている。あえて班会議は必要だろうか？ とこれまで疑問だったが…。対面の話し合いだからこそ、内容を練り上げ「案」を作成できた。また、その後の「雑談タイム」は話題盛りだくさんで、有意義な時間だった。地域班というカテゴリーで集まるのも「あり」だと思った。



東京2025デフリンピックのボランティアについて

デフリンピックのボランティア活動について応募に当選された会員にこの8月号から体験記を書いてもらうことにしました。そのボランティアがどのように選ばれたのかスポーツ TOKYO インフォメーションより2025年3月19日公表された内容を抜粋してご紹介します。

本年11月に開催される東京2025デフリンピックの競技会場等で活動いただく約3,000人のボランティアを、令和6年11月15日(金)から令和7年1月31日(金)までの期間で募集しました。3,000人の募集に対し、18,903人の応募がありました。ご応募いただいた皆さま、ありがとうございました。予定人数を大幅に上回る応募をいただいたため、厳正なる抽選を行い、抽選結果の通知をメールにてお送りしておりますので、ご確認ください。東京2025デフリンピックのボランティアには、国籍や障害のあるなしなどにかかわらず、様々な方が参加します。誰もが互いの違いを認め尊重し、協力して活動することを通して、共生社会の実現に繋がります。みんなで力を合わせて東京2025デフリンピックを成功させましょう！ また、ご応募いただいた皆様には、ぜひ会場に足を運んでいただけるよう、応援企画も進めておりますので、どうぞご期待ください。

応募人数 18,903人 抽選結果当選人数 3,500人

年代別 18～29 14.2% 30～39 8.5% 40～49 18.2% 50～59 33.2%
60～69 20.5% 70～ 5.5%

性別 男性 22.4% 女性 75.9% その他 1.7%

スキルを有する方 ・手話でコミュニケーションが可能 1,641名
(うち国際手話でコミュニケーションが可能) 447名

・英語で円滑なコミュニケーションが可能 641名
主な活動内容 ・競技会場等における選手・関係者や観客の誘導・案内
・インフォメーションデスクでの案内
・海外・国内メディア及びプレス対応の補助
・会場内での飲食補充、IDチェック
・競技リザルト整理、表彰状印刷サポート
・開閉会式等での手荷物検査サポート等

役員短報

日時：7月6日(日)、9:30-12:00

会場：オンライン

参加者：13人

<主な議題>

○三役

- ・サマーフォーラム in きょうと
缶バッジ、海苔の佃煮、ピーナッツなどを販売する。
- ・キャラバンカーが千葉に入る日時、場所など詳細を把握する。
- ・プライバシーポリシーの見直しをする。

○広報部

- ・8月号掲載記事の確認

○組織部

- ・会員拡大 2025年度会員目標は350人
- ・6月30日現在312人(目標比:▲38人)
- ・地区講座については日時ができるだけ重ならないように調整して開催する。
- ・地域班手引き書2025年度版は、見直して完成させる。
- ・総会議案書アンケートの結果、登録者には議案書をホームページからのダウンロードとすることとした。

<部・班の報告>

○三役から

- ・6月12日(木)~16日(日)全国ろうあ者大会 in いわては、視察団として参加。
- ・6月19日(木)衆議院第一議員会館で手話施策推進法可決報告会がある。米田会長が参加。
- ・7月2日(水)千葉聴覚障害者センター ほたるイベント拡大委員会

○ON-Action ちば

- ・9月27日(土)に茶話会を開催する予定。

○医療班

- ・7月12日(土)~13日(日)いすみ市1泊研修会を開催する。

○健康対策班

- ・6月26日(木)天海訴訟口頭弁論報告会に参加した。7月17日(木)最高裁判決が言い渡される。

- ・7月19日(土)の交流会を9月13日(土)に変更。

○楽しく未来社会学習班 (TMG)

- ・7月27日(日)学習会を開催。

○保育・子育て支援班

- ・全日本ろうあ者大会に参加して保育などの状況を視察。

○ろう教育班

- ・7月5日(土)学習会を7月21日(月・祝)に変更。

○事務局

- ・サマーフォーラム in きょうとの申込や振込が個人で処理するようになった。

○後援会

- ・7月12日(土)に理事会。

○関東手話通訳問題研究会

- ・7月27日(日)支部代表者連絡会議と組織担当者会議がオンラインで行われる。組織部から代表が参加する。

今後の予定

○8月2日(土) 役員会

健康対策班学習会・講演会

○8月8日~10日 サマーフォーラム in きょうと

○8月16日(土) 組織部会議

○8月26日(火) 広報部会議

○8月29日(金) サポーターズ印刷日

○8月31日(日) 医療班学習会



お知らせ

○ちば通研ホームページにアクセス
アドレスは以下のとおりです。

<http://syuwa-chiba.la.coccan.jp>

QRコードでホームページに
アクセスできます。

会員専用ページは
パスワードが必要です。



○ちば通研へのお問い合わせ

ちば通研への連絡は下記のアドレスへ。

E-Mail : syuwa@nifty.com

○原稿募集

原稿掲載にあたり、150字程度でお名前は
本名もしくはニックネームを明記。

次号の原稿締切日は8月15日(金)です。

E-Mail : c-koho@c2ken.sakura.ne.jp

FAX : 043-247-1201 (早朝・深夜は不可)

会費の納入のお願い

2025年度の会費納入をお願いしています。

会費は振込にてお願いいたします。振込先は以下の
とおりです。なお、申し訳ありませんが振込手数料は
ご負担ください。複数人まとめての納入は、全員の名
前をご記入ください。

○年会費

会費 10,000円

読者会員 6,500円(聴覚障害者のみ)

○郵便振込先

口座番号:00120-4-708239

加入者名:千葉県手話通訳問題研究会

※ゆうちょダイレクトで振込の場合は、月5回まで
無料です。

けいわん110番

<医療的な相談窓口>

滋賀医科大学社会医学講座 (衛生学)

TEL : 077-548-2187

FAX : 077-548-2189

<仲間を守る取組みに関する相談窓口>

FAX : 057-451-3281

*何かありましたら、いつでも、ちば通
研健康対策班に、ご相談ください。

FAX : 043-247-1201

○安否確認の報告はこちらへ

ちば通研では、2014年度から安否確認訓練
をしています。最近は、災害はいつ起きて
もおかしくない状況です。そのため、会員
の安否確認をよりスムーズにするため、専
用のフォームを開設しました。

災害の時は、自分から

アクセスして状況を

ちば通研に報告してください。

<https://forms.office.com/r/5bav1Tct53>



あ と が き

職場の校庭にずらりと並んだ「朝顔」。
5月の種まきから始めて、水やりや肥料な
ど、毎朝お世話に走り回る子どもたちが
ずっと大切に育ててきた「朝顔」。今は立
派に成長して色とりどりの花を咲かせて
います。水やり後の気持ちよさそうな「朝
顔」を見ながら、朝からの強烈な日差し
に涼しさをもらっています。(IT)

毎日暑いですね。膝のリハビリも兼ね
てヨガを始めたのですが、かく汗💦が今
までのベトベトからサラサラに変わり驚
いています。先日の「ほたるイベント」
でも、練習から本番まで大汗をかきまし
たが楽しかった～！ヨガに関してはまだ
楽しいという境地には至らず…。ヨガの
楽しさを是非教えてください。(YK)